

# 文教厚生委員会会議録

- 1 期 日 平成29年12月7日(木)
- 2 会 場 第2委員会室
- 3 開会時刻 午後 2時29分  
(休憩: 15時49分~15時57分)
- 4 閉会時刻 午後 4時24分
- 5 出席者 委員長 松本均 副委員長 榛村航一  
委員 榛葉正樹 委員 野口安男  
" 勝川志保子 " 藤澤恭子  
" 嶺岡慎悟
- 当局側出席者 浅井副市長、教育長、健康福祉部長、  
こども希望部長、教育部長、所管課長
- 事務局出席者 議事調査係 伊藤千恵子
- 6 審査事項
- ・議案第100号 平成29年度掛川市一般会計補正予算(第4号)について  
第1条 歳入歳出予算の補正  
歳入中 所管部分  
歳出中 第3款 民生費  
第4款 衛生費(第1項)  
第10款 教育費(第6項1目・2目を除く)
  - ・議案第101号 平成29年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)  
について
  - ・議案第102号 平成29年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第2号)  
について
  - ・議案第103号 平成29年度掛川市介護保険特別会計補正予算(第2号)につ  
いてについて
  - ・議案第113号 東遠学園組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約変  
更について
  - ・議案第114号 損害賠償の額の決定及び和解について
- 7 協議事項 ・閉会中継続調査申し出事項について 4項目
- 8 会議の概要 別紙のとおり

以上のとおり、報告いたします。

平成29年12月7日

市議会議長 鈴木正治 様

文教厚生委員長 松本均

## 7 会議の概要

平成29年12月 7日（木）午後 2時29分から、第 2委員会室において全委員出席のもと開催。

- 1) 委員長あいさつ
- 2) 当局（浅井副市長）あいさつ
- 3) 付託案件審査

### ①議案第100号 平成29年度掛川市一般会計補正予算（第4号）について

第1条	歳入歳出予算の補正
歳入中	所管部分
歳出中	第3款 民生費
	第4款 衛生費（第1項）
	第10款 教育費（第6項1目・2目を除く）

人件費について（一括説明）

〔こども希望部長、説明 14:33～14:35〕

〔質疑 なし〕

○松本均委員長  
担当課の説明が終わった。質疑をお願いする。

○松本均委員長  
質疑を終了する。

第3款 民生費  
第10款 教育費

〔こども希望課、説明 14:36～14:44〕

〔質疑 14:44～14:52〕

○松本均委員長  
担当課の説明が終わった。質疑をお願いする。

○野口安男委員  
放課後児童健全育成事業費について、原谷学童保育所の空調設備を更新するとのことだが、他の学童保育所で空調要望が出ているのはどのくらいあるのか。

●松浦こども希望課長  
施設修理については、33クラブあるが、細かいものもあるため数は複数となる。

○野口安男委員  
金額が大きいためから補正で組むのか。

●松浦こども希望課長  
原谷小学校空調設備については、8月に故障しこれから冬を越すため増額補正する。

○勝川志保子委員  
関連で。委託料で修繕費は賄っているのか。どういう形で支出しているのか窓口はどこなのか。

- 松浦こども希望課長  
子ども希望課の修繕費で対応している。
- 勝川志保子委員  
補正は空調設備だが、補正前に他の箇所の調査もしているのか。
- 松浦こども希望課長  
当初予算編成時、各学童保育所から希望を聞き予算を組んでいる。8月に故障と予期せぬ形だったこと、また、金額的にも大きく予算範囲内の対応ができないため今回補正する。
- 勝川志保子委員  
他のものは予算内でできるのか。
- 松浦こども希望課長  
優先順位をつけ予算計上している。突発的なものは予算計上されていない。必要性があつて優先順位が高いものから補正する。
- 勝川志保子委員  
資料 6番の延長保育促進支援費について、国への返還金とのことだが、延長保育が少なく済んだことから返還するというのか。
- 松浦こども希望課長  
この延長保育促進支援費事業というのは、延長保育だけでなく延長保育事業、放課後児童健全育成事業、病時保育事業、利用者支援事業、多様な事業者の参入促進能力活用事業、乳児家庭全戸訪問事業、養育支援訪問事業、地域子育て支援拠点事業、一時預かり事業、子育て援助活動支援事業、国庫補助の事業を一括総括して延長保育促進支援費となっている。各事業の平成28年度決算にともなうものに対して清算返還する。
- 榛村航一委員  
その中でも、大きいものは。
- 松浦こども希望課長  
延長保育事業で 189万 8千円である。
- 榛村航一委員  
189万円は延長保育しなかった返還金か。
- 松浦こども希望課長  
実際の利用人数。予定した中よりも余ったため返還する。
- 松本均委員長  
質疑を終了する。

### 第3款 民生費

〔福祉課 説明 14:53～14:59〕  
〔質 疑 14:59～15:12〕

- 松本均委員長  
担当課の説明が終わった。質疑をお願いする。
- 榛葉正樹委員  
40頁、障がい者福祉費、給付事務費について、福祉総合システム保守点検委託料について、システム更新するとあるが詳細を。

●寺田福祉課長

福祉総合システムが、今月いっぱい利用終了となる。1月から委託契約を結ぶ予定だったが、今回、契約予定業者が3月から8月まで指名停止となったことで、1月からの契約には間に合わなかった。そのため、新システム運用を次年度に延伸することとしたため、今年度については、1月から3月までの保守委託料3ヶ月分の補正を組んだ。平成30年度は4月から7月までの4ヶ月分の保守点検料を福祉課で予算要求し、それ以降はIT政策課からまとめて予算要求する。

○榛葉正樹委員  
指名停止とは。

●寺田福祉課長

不祥事を起こし、半年間入札等できない。

○嶺岡慎悟委員

延長して契約した会社が指名停止か。

●寺田福祉課長

その通り。指名停止が8月までだった。9月から協議し、1月から3月分を補正した。

○嶺岡慎悟委員

延長はできるのか。

●寺田福祉課長

このシステムは5年以上利用している。指名停止しているが、安価で早くできるので。

○松本均委員長

この後、8月からIT政策課にかわるとのことだが。

●寺田福祉課長

4月～7月までは福祉課で予算要求する。それ以降については、システム変更せず契約を一括してIT政策課で予算を見るということ。

○松本均委員長

何となく大丈夫かという感じ。

○藤澤恭子委員

重要な情報が入っているものを安価でということだが、そういう会社を信用できるのか。不祥事を起こした会社と契約する理由は。

●浅井副市長

技術的な問題や手続きのミスがあっても指名停止がある。とても大きなシステムなので他社にやってもらうとなると開発からなので莫大な費用がかかる。短期間の契約なので、同会社と契約する。

○嶺岡慎悟委員

生活保護管理費について、国にも返還し、歳入も国からも県からも貰っている。よくわからない。

●戸塚福祉課社会福祉係長

生活保護費については、たくさんの扶助がある。生活扶助、医療扶助、自己負担分の一割を出す介護扶助等。国会計3本建てで、医療、介護をそれ以外となっている。それごとの清算となるため歳入があったり歳出があったりする。

○勝川志保子委員

返還金の額の大きさ。なぜこんなに大きいのか。例年とかわらない数字なのか。資料12番、障がい者福祉費、生活介護について、返還金の額が大きい、明確な理由があるのか。

●寺田福祉課長

返還金が生じる理由は、平成28年度の当初予算を基に、5月頃、国、県に申請し、年度途中の秋以降に改めて申請する。最終的には決算額と負担金額、補助金額金額が違ってくるので、返還金が生じる。それを毎年秋に予算計上して、国へ返還する。

扶助費については、請求があると100%支給するので、少し多めに予算要求することが多い。

予算額が多いので返還金額が多く見えるが、執行率は90%を超えている。それぞれの事業で少しずつ扶助費予算が余り、まとめるとこの金額になる。

○松本均委員長

わかりにくいところがある。足りなくなると困るため多めにとっておく。生活保護費など、わかりにくいいため補正で調整する。

●深谷健康福祉部長

年度をまたぐのでわかりにくい。多く見込むので、その分を1年遅れで返す。

毎年、この時期に精算をしていく。

○勝川志保子委員

今年度は例年同様ということ。もう少し勉強する。

●寺田福祉課長

先ほどの指名停止内容については、本社において消防無線の入札で談合があったので、指名停止となった。

○松本均委員長

質疑を終了する。

第3款 民生費

〔健康長寿課、説明 15:14～15:16〕

〔質疑 なし〕

○松本均委員長

担当課の説明が終わった。質疑をお願いします。

○松本均委員長

質疑を終了する。

第3款 民生費

〔国保年金課、説明 15:17～15:19〕

〔質疑 なし〕

○松本均委員長

担当課の説明が終わった。質疑をお願いします。

○松本均委員長

質疑を終了する。

第4款 衛生費

〔健康づくり課、説明 15:20～15:22〕

〔質疑 なし〕

○松本均委員長  
担当課の説明が終わった。質疑をお願いする。

○松本均委員長  
質疑を終了する。

第4款 衛生費  
〔地域医療推進課、説明 15:22～15:24〕  
〔質疑 なし〕

○松本均委員長  
担当課の説明が終わった。質疑をお願いする。

○松本均委員長  
質疑を終了する。

第10款 教育費  
〔学校教育課、説明 15:25～15:28〕  
〔質疑 15:28～15:35〕

○松本均委員長  
担当課の説明が終わった。質疑をお願いする。

○野口安男委員  
入学準備金 1件当たりの額は。

●杉浦学校教育課長  
小学校は 2万 470円から 4万 600円に増額。中学校は、2万3,550円が 4万7,400円で、ほぼ倍額である。

○松本均委員長  
人数は。

●杉浦学校教育課長  
平成29年度は小学校 1年生52人、平成30年度は見込みが52人、平成29年度の中学校 1年生は、177人、平成30年度の見込みが66人である。

○勝川志保子委員  
就学援助の書類を見た。中学校にも事前配付されているのか。

●杉浦学校教育課長  
小学校 1年生は、就学時健診時に配布しており、そのほか学校にも配布し、どの家庭にもいくように全戸配布で案内している。

○勝川志保子委員  
就学援助制度の案内の書類を見たとき、前倒しで支給されるということがわかりにくいと感じた。制服等多額で困っている家庭もいる。もっと広く周知できるように。細かい字で見にくい申込用紙と感じたので、窓口に行きやすい工夫を。また、広報等いろいろな形で周知等して欲しい。

●杉浦学校教育課長  
前倒しで支給されることは、文面に入れてはあるが、もう少し工夫したい。

○榛村航一委員  
所得制限等あるのか。

●杉浦学校教育課長  
収入や家族構成等、要件はある。

●後藤学校教育課管理係長  
収入の明細書を提出していただき、生活保護の基準金額の 1.5倍未満を準要保護の要件として、計算式に当てはめ家族構成、収入で計算し、基準額に満たない家庭を支給の対象とする。

○嶺岡慎悟委員  
小学校の来年度見込みは52人とのことだが、83万円で足りるのか。

●杉浦学校教育課長  
当初予算の見込みにおいて、小学校は就学時健診で算定するため予想しにくい。昨年度、72人で予想していたが今年度52人となったため、当初予算に対し減額となる援助費目もあるので、本補正額で足りる見込みである。

○松本均委員長  
質疑を終了する。

〔社会教育課、説明 15:36～15:40〕

〔質疑 15:40～15:47〕

○松本均委員長  
担当課の説明が終わった。質疑をお願いします。

○榛村航一委員  
教養館にちなんだ返礼品にさせていただくとありがたい。

○勝川志保子委員  
返礼品の費用も基金から出していくのか。

●榛葉社会教育課長  
返礼品は、今ある基金から出すというものではない。例えば、10万円の寄附をいただいたら2万円くらいの商品を返礼、市に8万円入ることになる。  
今まで返礼品はなかった。今回補正をつけていただければ、1月から返礼品を開始する。  
今まで返礼品は考えていなかったが、返礼品がないと寄附がなかなか集まりにくくなった。  
何らかのインセンティブを与えることで、寄附していただく方が増えることが期待できる。  
各自治体も返礼品を始めるところが増えてきた。それなりの効果がある。掛川市も、当面クラウドファンディングで返礼品をつけることを考えた。

○榛村航一委員  
クラウドファンディングの目標金額はどのくらいか。

●榛葉社会教育課長  
今年度は1,000万円を目標としている。

○勝川志保子委員  
クラウドファンディングされた方からすると、10万円寄附したのに2万円戻ってくる。自分が寄附したものが、また自分に戻ってくるという感覚がないのだが。

○野口安男委員

とにかく寄附金を大きくしたいからやりたいという意味。

●榛葉社会教育課長

議員おっしゃるとおり。クラウドファンディングの本来の趣旨は、見返りを求めるものではない。一種の記念品、お礼のようなもの。返礼品があると、寄附する人も寄附しやすい。お金が返ってくる、お金を返すというわけではない。

- 松本均委員長  
質疑を終了する。

[討 論]  
なし

[採 決]  
議案第100号 平成29年度掛川市一般会計補正予算（第4号）について  
賛成多数にて原案とおり可決

[休 憩 15:49～15:57 ]

---

②議案第101号 平成29年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について

[国保年金課、説明 15:58～16:00]  
[質疑 なし]

- 松本均委員長  
担当課の説明が終わった。質疑をお願いします。

- 松本均委員長  
質疑を終了する。

[討 論]  
なし

[採 決]  
議案第101号 平成29年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について  
全会一致にて原案とおり可決

---

③議案第102号 平成29年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第2号）について

[国保年金課、説明 16:02～16:03]  
[質疑 なし]

- 松本均委員長  
担当課の説明が終わった。質疑をお願いします。

- 松本均委員長  
質疑を終了する。

[討 論]  
なし

[採 決]  
議案第102号 平成29年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第2号）につ



いて

全会一致にて原案とおり可決

---

⑤議案第103号 平成29年度掛川市介護保険特別会計補正予算（第2号）について

〔健康長寿課、説明 16:04～16:08〕

〔質疑 なし〕

○松本均委員長  
担当課の説明が終わった。質疑をお願いする。

○松本均委員長  
質疑を終了する。

〔討 論〕  
なし

〔採 決〕

議案第103号 平成29年度掛川市介護保険特別会計補正予算（第2号）について  
全会一致にて原案とおり可決

---

⑥議案第113号 東遠学園組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約変更について

〔福祉課、説明 16:11～16:12〕

〔質疑 16:12～16:13〕

○松本均委員長  
担当課の説明が終わった。質疑をお願いする。

○野口安男委員  
浜松市が脱退することで、掛川市の負担が増えるのか。

●寺田福祉課長  
平成29年度の予算ベースで約 250万円ほど増える。

○松本均委員長  
掛川だけで 250万円か。

●寺田福祉課長  
そのとおりである。

○松本均委員長  
質疑を終了する。

〔討 論〕  
なし

〔採 決〕

議案第113号 東遠学園組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約変更について  
全会一致にて原案とおり可決

---

⑦議案第114号 損害賠償の額の決定及び和解について

[地域医療推進課課、説明 16:15~16:17]  
[質疑 16:17~16:22]

- 松本均委員長  
担当課の説明が終わった。質疑をお願いする。
- 松本均委員長  
仕方がないと言えば仕方がないこと。人的ミスがあると思う。薬に対して何も無かったのがよかったが、それにより何か害することがあったら本当に大変なこと。確認の上、御注意いただきたい。
- 榛村航一副委員長  
具体的な再発防止策を考えているか。
- 深谷健康福祉部長  
掛川市立病院時の医療過誤である。その補償を今している状況。中東遠総合医療センターについては、このようなことがないようにお知らせしたい。
- 榛村航一副委員長  
今の中東遠総合医療センターは、ミスが起こり得ないと言い切ってよいのか。
- 深谷健康福祉部長  
患者数が多いので言い切れないが、企業団議会があるので、そちらを通していただければ。企業団議会で確認ができると思う。こちらからは控えさせていただきたい。
- 嶺岡慎悟委員  
誤診をしやすいものだったのか。
- 深谷健康福祉部長  
診断を受けた十年前においては、判断が難しい事例であったと聞いている。
- 松本均委員長  
質疑を終了する。

[討 論]  
なし

[採 決]  
議案第114号 損害賠償の額に決定及び和解について  
全会一致にて原案とおり可決

- 
- 4) 協議事項  
閉会中継続調査申し出事項 4項目
- 閉会中継続調査申し出事項 4項目で了承
- 

5) その他 なし

---

- 松本均委員長  
以上で委員会を終了する。
- 6) 閉会 午後4時24分